未来への心をつなぐパートナー

みらいろ

農をはぐくみ地域をつなぐ

2021 12月号

VOL.70

つなげる地域の輪 JAふくしま未来 5th ANNIVERSARY

JAふくしま未来

JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。

常に挑戦。おいしいイチゴを作る！

おいしいイチゴを追求する菅野さんご夫妻

伊達市霊山町でイチゴと水稲栽培に取り組んでいます。結婚、長男の誕生を機に農業を始め、今年で18年目になります。

イチゴ栽培では様々な栽培方法に挑戦しています。高設栽培を導入し作業の効率化を図ったり、養液栽培システムにより水や肥料の管理を自動で行ったり、アミノ酸配合の有機肥料の使用で食味を良くするなど、農業普及所やメーカーのアドバイスを参考に栽培に取り組んでいます。また、地域では先進的に赤色のＬＥＤを導入。太陽の光を補うことで生産効率をあげています。

心掛けているのは高品質なイチゴを作ること。「おいしくて良いイチゴをとれるように」と常に考え、いろいろなことを試しています。栽培を自分でコントロールし、収穫量をあげ、良いイチゴを皆さんに届けたいです。

今後挑戦してみたいことは、現在栽培している「とちおとめ」以外の品種を作ることです。

菅野さんは、第62回福島県農業賞を受賞。農業経営改善部門で、安定した経営が称されました。

旬な農産物

あんぽ柿

Anpogaki

福島県独特の風土、昼夜の激しい寒暖差が柿の甘みを凝縮させ美しいあめ色に仕上げます。

あんぽ柿にはビタミンＡ1の量が、生柿に比べて3倍以上多く含まれていて、美容・健康効果が抜群です。ビタミンＡ1はしわ取りなどの美容効果があり、その他、かっけ予防のビタミンＢ2や二日酔い防止に効くビタミンＢ6も含まれています。

若手生産者 表紙の人

伊達地区／伊達市霊山町

菅野　慎一 さん（46歳）

就農 18 年目
栽培品目・面積
イチゴ 40ａ、水稲 15ａ

みらいろ

Contents

02 若手生産者　表紙の人
04 特集
　● Ｊ-ＦＡＰの１年間
　● わたしの今年の漢字
08 J-FAP ふくしま魅力発見
10 みらいろトピックス
16 営農情報
20 農業女子
22 みらいろ作品展
24 元気にすくすく「みらいっ子」
25 創造的自己改革
　福島大学　学生日記
26 みらいろポイントカード協力店
27 介護情報
　進めよう！国消国産
28 ドローンで見るふくしま未来
　お知らせ
30 クロスワードパズル
31 家庭菜園のススメ
32 今月の直売所出荷者さん
　イベント情報

J-FAPの１年間

令和２年12月に誕生したＪＡふくしま未来の農産物ＰＲチーム「J-FAP（ジェイファップ）」が、結成から1年を迎えました。ＪＡ FukushimaMirai（ふくしま未来）Agricultural Products（農畜産物）ＰＲ（公衆との良い関係づくり）の頭文字をとった名称で、ＰＲ活動をする中で生産者・消費者と良い関係づくりを目指して取り組んでいます。

今回の特集では、そんなJ-ＦＡＰの１年間の活動の歩みをご紹介いたします。

イチゴから始まり、アスパラガス、ダリア、サクランボ、キュウリ、モモ、ナシ、米、セリ、あんぽ柿と１０品目の農産物を紹介。生産農家との掛け合いや簡単レシピを撮影。YouTubeでの動画配信の他、広報誌や Facebook で活動の様子をお届けしています。

今後は福島牛やキノコの撮影を予定しています。

その他、ＪＡ営農指導員やＪＡ役員との共演。

モモの動画では、営農指導員と共にふくしまのモモがおいしい理由や生産者の想い、モモの品種などを紹介しています。

米のPR動画では、役員やJ-ＦＡＰが作業着に身を包み、稲刈りをしたりお米を食べたりと、新米の魅力を発信しました。

サクランボをはじめとして、キュウリやモモ、ナシ、ブドウ、リンゴを福島県知事や市町村長へ贈呈。地産地消で農家の応援を呼び掛けました。

首都圏や関西などの県外では、量販店に足を運び店頭でPR販売を行いました。

さらに積極的な活動を展開してまいりますので、今後ともJ-FAPをよろしくお願いいたします！

「みらいろチャンネル」で
配信動画をご覧ください♪

令和２年12月２日、北信支店で委嘱状交付式を行いました。

半谷善弘企画担当常務より委嘱状が手渡され、「全世界への発信。若いパワーを存分に発揮してほしい」と激励を受けました。

12人のメンバーによる決意表明。

それぞれスケッチブックにひとこと書いて、抱負を述べました。

YouTube「みらいろチャンネル」「J-ＦＡＰ」結成の動画で配信中です。

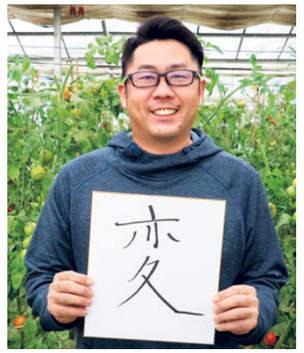
のぼりを作成しました。メンバーの等身大の写真と名前、「ふくしまのおいしい楽しい届けます」のキャッチフレーズがプリントされています。

販売促進活動やイベントで活用し、普段は本店正面玄関に掲げられています。

令和３年２月３日、J-ＦＡＰのPR動画第１弾の撮影を行いました。伊達市保原町の「イチゴ」農家　神田勇雄さんのハウスへ、メンバーの澪梨さんが訪れました。神田さんへ今年のイチゴの出来栄えや栽培の工夫をお聞きしました。

わたしの今年の漢字！

令和3年も早いもので、残り1ヶ月を切りました。様々な活動に制限がかかる中、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなどいろいろあった年でした。
今回は、組合員の皆さんに今年1年を振り返り、漢字一文字で表現していただきました。皆さんはどんな1年を過ごされましたか？



髙橋 澄一さん（39歳）

福島市鎌田
福島市農業後継者連絡協議会　会長

栽培品目
果樹（モモ）60a、野菜（トマト、キュウリ、季節の野菜）50a、水稲30a

漢字を選んだ理由
子どもの成長が著しく感じられたり、今まで作っていない新たな品目の栽培を始めたりと、いろいろな変化が見られた年でした。
水はけの悪い場所で作れるものはないかと始めた「いちじく」、JA直売所へ今年から自分の名前で出すようになり、始めた「アイスプラント」。新しい品目をもっと増やして、うまくいきそうなもの、見込みのあるものにどんどん挑戦していきたいです！

安倍 真知子さん（68歳）

福島市岡部
女性部福島地区本部　部長

栽培品目
トウモロコシやネギ、ダイコン、カリフラワーなど約30種類の野菜10a

漢字を選んだ理由
女性部活動では、人と人とが集まって何かするということがいかに大切かを感じた1年でした。万全の感染症対策のもと、今年は徐々に活動を再開してきました。「時代に合わせて進まなければいけない」という想いから、女性部でもスマホ教室の開催を広く進めています。
人と人とのつながりをエネルギー源に、集まってくれる人たちに楽しいと思ってもらえる活動にしていければと思っています。

蓬田 由美子さん（69歳）

桑折町伊達崎
女性部伊達地区本部　部長

栽培品目
桃2ha、水稲4ha

漢字を選んだ理由
コロナがようやく落ち着きました。これから明るい毎日が送れるようにと自分自身くよくよしないで、明るく、穏やかに過ごせるようにと願いを込めて「明（めい）」にしました。
女性部活動は、参加者数や午前と午後に分けての開催など、まだ制限がありますが、来年は多くの女性部員が集まれる明るい年になってほしいです。

氏家 慎之介さん（21歳）

伊達市坂ノ上
伊達地区きゅうり生産部会

栽培品目
キュウリ30a、スナップエンドウ30a、ホウレンソウ120a

漢字を選んだ理由
就農から2年が経過しました。この2年間はドタバタと訳が分からず農作業を進めてきましたが、3年目に入りようやくスタートラインに立てたという意味で「二」にしました。訓読みの「はじめ」や「位置について」からも意味をとりました。
指導員のアドバイスや指導会、インターネットなどを参考に分からないことを調べています。様々な情報に触れることで興味が湧くことが多く、挑戦してみたいことがたくさんあります。
来年は「二」になるように頑張っていきたいです！

川名 一正さん（70歳）

本宮市本宮
安達地区稲作部会　部会長

栽培品目
水稲1・6ha

漢字を選んだ理由
今年は、米価の下落が農家に大きく影響を与えました。来年は農家が意欲をもって米作りに臨めるように、そして「福」を感じられるようになってほしいです。
また、今年福島県のブランド米「福、笑い」の栽培を始めたことから「福」という漢字を選びました。

根本 静香さん（41歳）

大玉村大山
女性部安達地区
フレッシュミズ部会　部会長

漢字を選んだ理由
コロナ禍で、これまで当たり前だったことが当たり前ではなくなりました。生活、仕事にもいろいろと影響がありました。
そんな中、1年遅れで「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されました。福島市ではソフトボールと野球の試合が行われ、日本選手団が一つになり試合に臨む姿に深い「絆」を感じました。

門馬 美枝子さん（70歳）

南相馬市原町区
女性部そうま地区本部　原町総合支部長

栽培品目
みず菜、ミニトマト、ホウレンソウなど多種類の野菜

漢字を選んだ理由
目に見えないコロナウイルスの感染拡大で、いつか自分が感染するんじゃないかという不安の中で生活していた1年でした。
何かと制限が多かった女性部の活動も徐々に再開されて、元の日常生活に戻りつつあることを嬉しく思っています。
「進」を選んだ理由は、コロナが収束して訪れる通常の生活に対しての準備、関東に住む孫に会う心の準備など、嬉しく前向きな意味を込めました。

後藤 義昭さん（69歳）

相馬市玉野
相馬中村直売部会　部会長

栽培品目
水稲60a、花卉20a

漢字を選んだ理由
新型コロナウイルス感染拡大によるマスク生活や行動の制限、米価の下落、原油価格の高騰など、日々の生活で何かと耐える事の多い1年だったと感じます。
来年は全てが良くなることを祈り、耐えてきたことを糧に、皆さんにとって良い年になることを願っています。

JAふくしま未来

JFAP

J-FAP ふくしま魅力発見 vol.10

ふくしまのおいしい楽しい届けます

あんぽ柿生産農家で伊達地区あんぽ柿生産部会の部会長を務める佐藤さん。120本の柿を栽培し、あんぽ柿作りを行っています。

今年は霜の被害を受け、収穫が昨年の半分ほどになってしまいましたが、平年6tの柿をあんぽ柿に加工して消費者に届けています。

佐藤さんの柿畑では、オレンジ色の柿がとてもキレイに実っていました。

Q あんぽ柿の特徴を教えて下さい。

A 蜂屋柿は大粒の柿です。
これを加工すると、トロッと甘くておいしいあんぽ柿になります。

Q あんぽ柿に対するこだわりを教えて下さい。

A 自分の手で原料柿の栽培から、加工までを全て行っています。おいしいあんぽ柿を作ることを一番に考えています。

J-FAP（ジェイ ファップ）は、JAふくしま未来の職員で構成されたPRチーム。「JAふくしま未来農産物PR」という意味の英語「JA FukushimaMirai AgriculturalProducts PublicRelations」が由来です。管内の農産物の魅力をお届けする中で、生産者や消費者と良好な関係づくりを目指していきます！

Q 消費者の皆さんに一言お願いします。

A 今年もおいしいあんぽ柿ができました。
ぜひみなさんに食べてほしいです。

佐藤さん、いつもおいしいあんぽ柿を生産していただきありがとうございます。
これからもよろしくお願いします！

YouTube「みらいろチャンネル」
★農家におじゃまします！
★J-FAPクッキング
動画公開中！ご覧ください。

J-FAP クッキング

ふわふわサックサク あんぽ柿と クリームチーズのマフィン

材料（6 個分）
（直径 5cm×高さ 2.5cm のマフィン型）

粉類
薄力粉 …… 100g
アーモンドプードル …… 50g
ベーキングパウダー …… 3g

無塩バター …… 100g
グラニュー糖 …… 100g
溶き卵（Mサイズ） …… 2個
あんぽ柿 …… 2個
クリームチーズ（4個） … 60g

J-FAPポイント★
あんぽ柿は美容・健康効果がバツグンです。

作り方
無塩バターは常温に戻しておきます。薄力粉はふるっておきます。オーブンは170℃に予熱しておきます。 型にグラシン紙を敷いておきます。

❶あんぽ柿はヘタと種を取り除き、4等分に切ります。
キッチンバサミを使うとキレイに切ることができ、まな板も汚れません。
❷クリームチーズは4等分に切ります。
❸ボウルに無塩バターとグラニュー糖を入れ、ホイッパーで白っぽくなるまで混ぜ合わせます。
❹溶き卵を2回に分けて加え、その都度混ぜ合わせます。
❺粉類と❶、❷を入れ、ゴムベラで切るように混ぜ合わせます。
❻型の8分目まで生地を流し込み、170℃のオーブンで焼き色がつくまで20分程焼きます。
❼粗熱が取れたら型から外して完成です。

TOP NEWS
伊達地区 10月21日
安達地区 11月16日

農業の未来
伊達地区・安達地区で市町村長と意見交換

▲伊達地区での意見交換会

伊達地区本部は、伊達管内1市2町首長と意見交換会を同地区本部で開催しました。

意見交換会には須田博行伊達市長や髙橋宣博桑折町長、引地真国見町長、JA役職員ら14人が出席しました。新規就農者へのサポート体制や、遊休農地・耕作放棄地への対応などについて、要望や意見を交わしました。

▲安達地区での意見交換会

安達地区本部は、二本松市のラポートあだちで第7回管内市町村意見交換会を開催。

三保恵一二本松市長や渡辺正博本宮市副市長、武田正男大玉村副村長、JA役職員など22人が出席しました。きゅうり機械共選に伴う面積増反及びハウス等施設導入やカメムシ被害・米概算金変動などについて意見を交わしました。

TOP NEWS
10月22日

新パッケージで令和3年産米PR
南相馬市新米出発式

▲出発式でテープカットをする濱田専務（左から3人目）

当JAと南相馬市は南相馬市産食用米PR事業の「新米出発式」と「新米発表会」を南相馬市のかしま交流センターで開きました。

濱田賢次専務が「行政とJAが協力しPRすることで生産者の生産意欲向上につながる。農家が安心して米作りができるよう支援を強化していく」とあいさつしました。

新米出発式では南相馬市の門馬和夫市長や濱田専務らがテープカットを行い、新米が積み込まれたトラックを送り出しました。

新米発表会では昨年度のパッケージを活かし、「コシヒカリ」は自然をイメージしたグリーンに、「天のつぶ」は大地をイメージしたオレンジにリニューアルした新しいパッケージが紹介されました。

▲発表会で新米をPRする関係者

11月15日
農業活性化目指す
東農大生農家支援

▲援農支援活動入校式

当JAと包括連携協定を結ぶ東京農業大学は、管内農家の援農支援活動を行っています。コロナ禍で労働力不足にある農業者や関連産業の活性化に貢献すべく活動を展開。生産現場を実際に体験し農家の生業を学びます。

受け入れは、リンゴやあんぽ柿、長ネギ、ブロッコリーなどの生産農家10戸。同大学食料環境経済学科の藤森裕美准教授のゼミ生41人が参加しました。5日間の支援で、最終日には農産物直売所で消費拡大に伴う販売促進活動を実施しました。

福島市でリンゴを生産する樅山和一郎さんの園地では、学生2人がリンゴの収穫作業を支援しました。東京都出身の浅津みちさんはリンゴの収穫は初めての体験。「思ったより力仕事が多く、どうやったら若い人が農業にきてくれるか考え、自分にできることをやっていきたい」と抱負を話しました。

その他、学生らはあんぽ柿の加工作業やブロッコリー、ネギの収穫、選別作業を支援しました。

▲リンゴ農家を支援した浅津さん

10月30日
冬の味覚登場
あんぽ柿加工開始

▲加工が始まったあんぽ柿

JAの生産施設「あんぽ工房みらい」で特産の「あんぽ柿」の加工作業が始まりました。

加工初日は、原料柿「平核無柿」約3tを皮むきし、硫黄くん蒸の加工作業に取り掛かりました。11月15日には県内をはじめ北海道、東北、京浜地区へ初出荷されました。

同施設の菊池洋介センター長は「高品質なあんぽ柿生産に力を入れ、全国の消費者にお届けしたい」と意気込みます。

出向く営農指導体制強化
営農経済担当職員スキルアップ研修会開催

10月22日

営農センターを拠点とした出向く営農指導体制の構築を基軸に、組合員の営農技術向上、農業生産の拡大を図るため、営農経済担当者のスキルアップフォロー研修会を開きました。

講師には株式会社コンパスの鈴木進介代表取締役を招きました。地区ごとに協議した課題点や解決策をそれぞれ発表し、改善できた点やさらなる問題点の洗い出しを行いました。

その他、経済部門では初の試みとなるロールプレイングを実施。大玉営農センター営農経済係の渡邊祐樹さんが、営農センターに来店したお客様への予約注文書回収を想定した窓口対応を披露しました。職員の資質向上により「なくてはならいJA」を目指します。

▲地区ごとの発表へ講評する菅野房子経済部長

10月24日

さわやかな汗でリフレッシュ
いきいきウォーキング大会

3 すべての人に健康と福祉を　17 パートナーシップで目標を達成しよう

そうま地区本部は、いきいきウォーキング大会を南相馬市小高区で開きました。同地区の女性部員や地域住民、JA役職員など約140人が参加。秋晴れの中、参加者らは復興が進む市内の景色を眺めながら交流を深めました。

同日は、寺院や公園などを巡る全長6kmのコースを設定。折り返し地点に休憩所を設け、ヨーグルトなどを振る舞いました。

▲ウォーキングを楽しむ参加者

同イベントは、JA健康寿命100歳プロジェクトの一環で、心身の健康づくりを目的に2010年から続いています。

参加者は「久々にイベントに参加できて気分転換になった。天気も良く、皆さんと歩く事ができて良かった」と笑顔を見せました。

▲休憩所で久しぶりの会話を楽しむ参加者

10月24日・25日

晴天のもと開催
安達地区第6回組合員ゴルフ大会

17 パートナーシップで目標を達成しよう

安達地区本部は、「第6回組合員ゴルフ大会」を二本松の安達太良カントリークラブで開きました。組合員や地域住民ら288人が参加し、親睦を深めました。

後藤忠安達地区本部長は「組合員ゴルフ大会を通じて、地域の活性化やアクティブメンバーシップの確立につなげていきたい」と話しました。

各部の優勝者

24日
一般の部　柳田 浩二さん
グランドシニアの部　野地 達夫さん
レディスの部　伊藤 善枝さん

25日
一般の部　本多 和一さん
グランドシニアの部　渡辺 征二さん
レディスの部　佐藤 みゆきさん

▲親睦を深めた組合員ゴルフ大会

11月10日・11日

組合長に聞く
女性部福島地区本部交流研修会

17 パートナーシップで目標を達成しよう

女性部福島地区本部は交流研修会を開き、136人の部員が参加。地元の温泉宿「吉川屋」に宿泊し充実の時を過ごしました。

研修会は数又清市組合長による講演。数又組合長は「農業に『夢とロマン』を　JAがつなぐ　未来へ果たす役割」と題し、学生時代の思い出やJAへの入組など自身の生い立ちを話しました。その他、地球温暖化や風評被害などこれからの営農へのJAの役割を説明しました。

交流会では、美味しい料理を味わいながら、部員や役職員らが交流を深めました。最後には全員で恒例の豊年踊りを踊り盛会のうちに会を閉じました。

▲講演する数又組合長

11月9日

中学生がJA事業学ぶ
キャリアチャレンジデー

4 質の高い教育をみんなに

相馬市立向陽中学校は、地域の様々な業種について学ぶ「キャリアチャレンジデー」を開催。そうま地区地域支援課の山内和彦課長が同中学校へ出向き、JAの業務内容や地域貢献活動への取り組みなどを説明しました。

同取り組みは、生徒らの自己啓発を目的に毎年開催していて、2年生約100人が市内の企業や行政など12業種から、やりがいや使命感について学びました。

▲生徒らにJA事業について説明する山内課長

11月11日

最盛期を前に出荷基準確認
ニラ出荷目揃会

15 陸の豊かさも守ろう

▲出荷基準を確認する生産者ら

ニラ生産部会梁川支部は、伊達市の梁川営農センターでニラの出荷目揃会を開きました。出荷最盛期を前に、生産者や職員らが出荷規格を確認しました。

目揃会には、支部の部員やJAの営農指導員、県北農林事務所伊達農業普及所の担当者ら12人が参加。草野等支部長が「需要が高まる年末に向けて、品質の高いニラ作りに取り組んでいこう」とあいさつしました。

10月30日

サツマイモ収穫体験とミニ実験を楽しむ
みらいろアグリ塾開催

4 質の高い教育をみんなに

親子農業体験イベント「みらいろアグリ塾」を、福島市で開きました。管内の親子7組20人が参加して、サツマイモの収穫体験とサツマイモの皮を使ったミニ実験を行いました。

吾妻営農センターの石橋利広次長が、収穫方法を説明。参加した子どもは、顔程も大きいサツマイモを掘り大喜びの様子でした。

収穫体験の後は、福島大学の平修教授と学生による「サツマイモの皮で色の変化を知ろう」の実験を行い、サツマイモの皮にはアントシアニンと呼ばれる色素が含まれていて、水道水や酢、キンカンにそれぞれ数滴色素を入れると色が変化することを学びました。

最後には焼き芋と季節の果物をプレゼント。参加者は「大きなサツマイモが収穫できて、とても楽しかった」と感想を話しました。

次回は、2月開催の予定です。

▲大きなサツマイモがとれたよ！！

▲色の実験を体験する親子

申し込み先
総務部地域支援課
TEL：024-573-1004

11月13日

記事活用発表で本田さん最優秀賞

安達地区家の光大会開催

女性部安達地区本部は、「令和3年度女性部大会・家の光大会」を安達文化ホールで開き、女性部員や家の光購読者約200人が参加しました。

菅野まゆみ部長は「コロナ禍で活動が制限されているが、日頃の活動の成果を発表してほしい」とあいさつ。

家の光記事活用発表では、3支部の代表者が発表し、岩代総合支部の本田恵子さんが最優秀賞に選ばれました。本田さんは、来年開催される福島県大会にJA代表として出場します。

大会では福島市で活躍する大道芸人羽舞（うまい）さんによるパフォーマンスが行われました。ハラハラドキドキ、笑いありの舞台で、技が披露されると会場から大きな拍手が送られました。

▲最優秀賞を受賞した、本田さん

▲羽舞さんによるパフォーマンス

11月13日

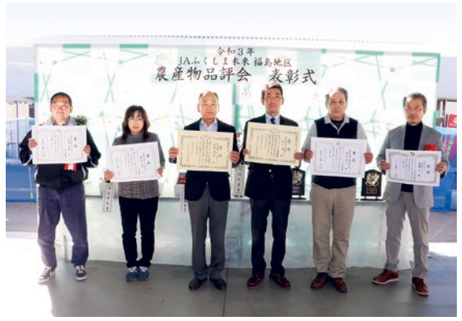
県知事賞に村上さん、齋藤さん

福島地区農産物品評会

令和3年度福島地区農産物品評会表彰式を農産物直売所ここら矢野目店イベント広場で開きました。

福島県や管内市町村、福島中央青果、全農福島など11人が審査員を務め、290点の農産物から72点の受賞作物を選出しました。

福島県知事賞には村上充さんの「サンふじ」、齋藤徳幸さんの「キュウリ」、福島市長賞には油井恵一さんの「王秋」、佐々木久子さんの「ネギ」、髙橋正春さんの「小菊」、川俣町長賞には髙橋亨さんの「カーネーション」が見事輝きました。



▲農産物品評会受賞者

11月17日

今年も美味しいお米が出来ました

おいしいお米コンクール

安達地区本部は「おいしいお米コンクール」の最終審査を行いました。

「コシヒカリ」上位3点、「ひとめぼれ」1点、「天のつぶ」1点の計5点の中から、最優秀賞など上位5人を決定。最優秀賞には、西村忠男さんの「ひとめぼれ」優秀賞には、武田藤男さんと鈴木綱樹さんの「コシヒカリ」が選ばれました。

今年度は、「コシヒカリ」48点「ひとめぼれ」1点「天のつぶ」5点の合計54点が出品され、1次、2次審査を得て、上位10点が選抜されました。今回の入賞者10人は「お米の達人」に認定されました。

21日、こらんしょ市二本松店で「感謝フェア」が開かれ、同コンクールの表彰式が行われました。

▲米の香りを審査する審査員

11月13日・14日

直売所んめ～べ大賑わい

農家応援・感謝フェア開催

農産物直売所みらい百彩館んめ～べで「農家応援・感謝フェア」を開催しました。農産物品評会や女性部によるイベント、農産物詰め合わせセットの特売など秋の味覚を味わう企画目白押しでお届けしました。

初日、オープンセレモニーを開催。数又清市組合長は「んめ～べは13年目を迎える。直売所を拠点とした取り組みで、農家の方々が丹精込めた農産物を消費者にアピールしていきたい」とあいさつしました。

▲賑わいを見せた女性部バザー

▲新米をPRする福島大学生

11月15日

歌と踊りで楽しく学ぶ

交通安全ミュージカル

当JAとJA共済連福島は、親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」を二本松市立杉田幼稚園で開催しました。

これまでは市民会館などで公演を行い複数の幼稚園が集っていましたが、新型コロナウイルス感染防止策として、今年度は幼稚園に出向く形での実施となりました。福島県内では初めての開催です。

同幼稚園の年長と年中計14人の園児が参加し、出演者と正しい横断歩道の渡り方などを学びました。

▲横断歩道の渡り方を学ぶ園児たち

11月15日

全役職員で地域をキレイに

統一美化運動実施

全役職員が参加した地域美化統一運動を行いました。

同運動は地域貢献活動の一環で、福島市の本店をはじめ、伊達、安達、そうまの各地区本部と全支店で毎年この時期に実施しています。

就業時間前の約30分、役職員らが施設周辺の道路や歩道でたばこの吸い殻や空き缶などを回収した他、除草作業も行いました。

▲国道13号線沿いを清掃する本店職員

JAの農業振興支援事業を活用

農業所得アップ優良事例

JAでは、2億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。
事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

優良事例

伊達地区

イチゴ生産者

取り組み前年対比(%) 販売数量:101%、販売額(合計):100%

項　目	内　容
活用した支援事業	農業振興支援事業パイプハウス新設　＋　イチゴ高設栽培
事業活用前の課題	規模拡大・労力軽減
取り組んだ方策	ハウスの新設　＋　一部を高設栽培へ
令和元年実績 販売数量・販売金額（取組み前）	22,246.94kg、28,978,394円
令和2年実績 販売数量・販売金額（取組み後）	22,438.94kg、29,040,133円
前年対比（%）	販売数量：101%、販売金額：100%
取り組み後の成果	高設による耕作面積の縮小をハウスの新設で補うとともに収穫量を維持して労力が軽減され作業の効率化が図られました。
農家コメント	期待通りの効果で収穫量は維持し、労力の大幅な軽減ができました。
担当営農指導員又は担い手渉外担当者コメント	イチゴ高設栽培との併用で収穫量・販売金額を維持し、労力の軽減・作業の効率化に大きく寄与することができました。

販売情報

せり情報

■ＪＡふくしま未来実績（開催日　11月9日・10日）　単位:円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	76	76	692,363	1,170,400	300,300	289	2,394	292	656,165	36,198
去	97	95	808,639	1,070,300	218,900	317	2,552	283	799,255	9,384
計	173	171	756,961	1,170,400	218,900	305	2,485	287	737,192	19,769

■福島県家畜市場（開催日　11月9日・10日）　単位:円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	336	334	706,009	1,680,800	210,100	290	2,436	291	661,357	44,652
去	421	419	816,951	1,214,400	218,900	318	2,566	284	798,046	18,905
計	757	753	767,742	1,680,800	210,100	306	2,511	287	736,853	30,889

■乳牛せり市場（開催日　11月18日）　単位:円（税込）

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
ＥＴ和雌	1	557,700	557,700	557,700	76	7,338	502,700	55,000
ＥＴ和雄	3	601,150	713,900	531,300	116	5,323	584,415	16,735
乳雌牛	－	－	－	－	－	－	8,800	-8,800
乳雄牛	23	102,061	139,700	33,000	81	1,260	110,000	-7,939
F1雌（スモール）	50	211,838	376,200	118,800	73	2,911	150,380	61,458
F1雄（スモール）	49	238,363	413,600	68,200	76	3,137	184,485	53,878

和牛せり市場
乳牛せり市場

ワンポイントアドバイス

つなぎ運動で落ち着きのある牛を

子牛を出荷する前には、つなぎ運動をして牛に落ち着きが出るようにしましょう。（平らな場所で顔を持ち上げ、繋留棒または柱に頭絡を密着させ、きつく結びつけること）つなぎ運動とブラッシングをすることによって、生産者になつき出荷時のトラックへの誘導がしやすくなるので、出荷の2ヶ月前から行うようにしましょう。

営農集団紹介

杉内仲組営農組合

中山間地域の利を生かし、安全安心の米作りを広げていく

杉内仲組営農組合の皆さん

二本松市東和地区は、400年以上続く伝統ある祭り「針道のあばれ山車」が有名な活気あふれる地域です。今回は水稲を栽培している杉内仲組営農組合を紹介します。

設立経過

杉内仲組営農組合は地域との絆を大切にし、持続可能な農業を展開することを目的に現二本松市議会議員の佐藤源市さんが中心となり、メンバー38人で平成17年11月に設立しました。設立当時は、水稲や小菊の栽培をしていました。

運営状況

現在、稲作がメインで「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」など食用米を中心に14haで栽培しています。当初から変わらないメンバーで活動していて、仲が良いのが強みです。

設立当時から活動報告などをまとめた広報誌「杉内仲組集落営農だより」を作成し、情報を共有して、地域の仲をさらに深めました。また、他の農業集落地域へ研修へ出向き、進んだ営農技術を積極的に取り入れ活かしています。東日本大震災の風評被害では土壌改良に苦労しましたが、蓄えてきた知識を十分に活かし、お互いに助け合い地域の農地を守るために一丸となって取り組みました。

将来展望

今後はメンバーの息子さん達が後継者となって農業を展開していく予定ですが、さらに新規就農者を増やしていくのが目標です。そのためにも年間を通した収益が課題になってくるので、組合員同士で助け合って耕作放棄地を無くしていくことが大切だと思います。長年の知識と知恵を活かし地域と一体となって福島の安全安心なお米を全国に届ける取り組みを行っていきます。

田植えの様子

農地中間管理機構・市町村・ＪＡで担い手に農地を集積・集約

農地バンクは
地域農業の未来を応援します！

【お問い合わせ先」

市町村	担当部署	電話番号	地域マネージャー	電話番号
福島市	農政部　農業企画課　農業担い手係	024-525-3726	福島拠点（県北農林事務所駐在）	080-3754-3063
川俣町	産業課　農業振興係	024-566-2111（内線 1503）		
伊達市	産業部　農政課　農業担い手係	024-573-5635	伊達拠点（伊達農業普及所駐在）	080-3754-3064
桑折町	産業振興課	024-582-2126		
国見町	産業振興課	024-585-2890		
二本松市	産業部　農業振興課	0243-55-5116	安達拠点（安達農業普及所駐在）	080-3754-3066
本宮市	産業部　農政課　農政係	0243-24-5385		
大玉村	産業建設部　産業課　農政係	0243-24-8107		
相馬市	産業部　農林水産課　農業振興係	0244-37-2147	相馬拠点（相双農林事務所駐在）	070-1582-6920
南相馬市	経済部　農政課	0244-44-6802		
新地町	農林水産課　農林水産係	0244-62-2194		

※原子力被災 12 市町村の農地については、下記の本社までお問い合わせください

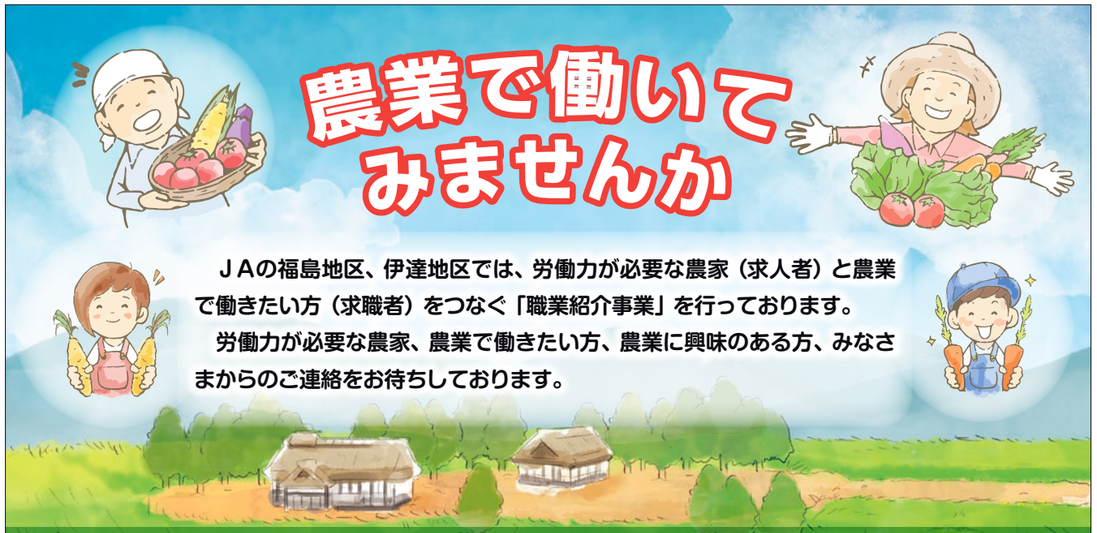
◆公益財団法人 福島県農業振興公社（農地バンク）

〈本社〉中通り・会津担当 TEL.024-521-9845　　浜通り担当 TEL.024-521-9843

被災地域対策室 TEL.024-503-0421

携帯・スマートフォンはこちらから
http://fnk.or.jp/

JA担当部署		電話番号
福島地区	農業振興課	024-554-5532
伊達地区	農業振興課	024-575-0114
安達地区	農業振興課	0243-33-2739
そうま地区	最寄りの各営農センターまでお問い合わせください。	



求人情報登録をお願いします

ふくしま農業求人サイト　みつかる農しごと

福島県 ×JA グループ福島で誕生した農業専門の求人サイトです！

求人情報を自分で登録できます！

お好きな時間にご自身で求人情報を登録することができます。

初めての雇用も安心です！

職業紹介所が運営しているので、労務管理等で不安なことがあればアドバイスいたします。

求人情報の掲載は無料です！

職業紹介所からの「紹介・あっせん」も、求人者・求職者ともに無料です！

ふくしま農業 みつかる農しごと 求人サイト

「みつかる農しごと」は、福島県の委託を受けて JA 福島中央会無料職業紹介所が運営しています。

https://koransyo-nouka.jp/

求人掲載募集中　会員登録募集中

Web サイトに関するお問い合わせ

JA 福島中央会
無料職業紹介所
【許可番号：07ーム－300020】

電話・FAX　TEL.024-554-3042　FAX.024-552-2786
Eメール　muryo-shokai07@ja-fc.or.jp
福島県福島市飯坂町平野字三枚長 1-1（JA 福島ビル）

農業で活躍する女性を紹介

農業女子

のうぎょうじょし

vol.10

自然に囲まれて楽しく笑って生きていく

▲出荷用の赤カブ「もものすけ」を収穫する愛枝さん

プロフィール

二本松市戸沢

こばやし　よしえ
小林　愛枝さん(37歳)

自然に憧れ農業の道へ

二本松市戸沢地区で農業を営む小林愛枝です。自然に囲まれた生活がしたいと思い、夫と共に農家を目指し2011年に東京都から移住しました。現在は夫と3人の子供たちと5人で暮らしながら、露地キュウリやタマネギ、カブなどの野菜を約60aで、飼料米中心の水稲を80aで栽培している他にニワトリ200羽を養鶏しています。作業は基本的に夫と二人三脚で行なっていて、JAや道の駅へ出荷しています。

農業は生活の一部

東京で移住セミナーに参加して二本松を訪れた時、自然豊かな風景と地域の方々の暖かさに惚れ込み移住を決意しました。私も夫も農業はほぼ未経験。最初の1年間は地域の認定農業者さんにお世話になり、トマトや水稲などを実際に育てて栽培のノウハウを学びました。

就農から10年、今では「農業」は「生活の一部」です。自分で育てた野菜を食べた時の美味しさにやりがいを感じますし、子供たちが農作業を手伝うことで、食農教育に繋がると考えています。栽培に関してのモットーは「効率の良い作業」。天候に左右されやすい農作業を早めに行ない、高品質な農産物を消費者へ届けられるよう、ベストなタイミングで収穫することを心掛けています。

今後の目標

農家の後継者不足も問題ですが、人手（人力）の限界も課題だと思います。一農家で所有できる農業機械には限りがあるので、共同利用の拡大による省力化で耕作放棄地を少しでも減らしていければと思っています。

二本松市東和地区では私のように全国から移住して農業を営む仲間が多いです。移住を考えている人たちに、地域の自然の豊かさや人柄の良さなどの魅力を発信しながら、「来てよかった」と思ってもらえるように移住者支援にも取り組んでいきたいです。そして、農業の活性化でお世話になった皆さんに恩返しがしたいです。

▲ニワトリは自ら栽培した飼料米や規格外野菜で育てる

▲定植に向けてタマネギの苗を準備

▲丹精込めた野菜の収穫は自然と笑みがこぼれる

▲地元のケーキ屋さんからも好評の新鮮卵

みらいろ 作品展

（順不同）

山田 ひで子さん（伊達市保原町）

五賀 友子さん（南相馬市鹿島区）

清野 カツ子さん（伊達市保原町）

桑折 ツネ子さん（南相馬市原町区）

曳地 美雪さん（伊達市梁川町）

加藤 洋子さん（二本松市）

岡本 家子さん（南相馬市鹿島区）

武田 良子さん（桑折町）

鈴木 栄子さん（伊達市保原町）

佐藤 久子さん（二本松市）

野田 好子さん（伊達市保原町）

清野 八智子さん（伊達市保原町）

但野 ヨオ子さん（南相馬市鹿島区）

橘 美知子さん（伊達市梁川町）

作品募集中

絵手紙、短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。
住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。応募締切は12月16日（木）必着です。
※締切に間に合わなかった方は、次月号で紹介させていただきます

短歌、俳句、川柳にご応募の方は、作品の種類をご明記ください。

〒960-0185　福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、あらかじめご了承ください

鈴木 恵美子さん（伊達市保原町）

八巻 美奈子さん（伊達市梁川町）

ご応募いただいた作品は、JAの農産物直売所で掲示させていただきますので、あらかじめご了承ください。

短歌・俳句・川柳

短歌

安達太良の自然を変える芸術
リフレッシエできる美しい山
吉田 ユキさん（二本松市）

散り際を告ぐか時雨の降りかかる
バラのアーチを行く昼下がり
大内 由美子さん（南相馬市鹿島区）

親ゆずり哲学持たぬ酪農家
哲学持ったよそ者乳を
清水 義宏さん（相馬市）

寒空を見上げていると泣く声に
シベリア下ろし白鳥の群れ
佐藤 弘美さん（福島市）

孫達と柿もぐ中に熟し有り浮かぶは
コリャ旨い食べる亡夫の恵比須顔
佐原 静枝さん（相馬市）

愛こめた友の手作り綿ぞうり
共に元気で笑顔の誓い
二瓶 久子さん（福島市）

雪蟲舞庭の草花霜枯れて寒菊焚焚
と朝日に咲けり
宍戸 マリ子さん（福島市）

娘も孫もみんな揃えば笑む父が
また戻りゆく眠りの世界
森谷 悦子さん（福島市）

秋深し菊の香りに誘われし
咲き誇りたる花眺め入り
大堀 スサ子さん（新地町）

秋モミジ親音沼を手鏡に
化粧変えれば鹿も笛吹く
平田 一さん（南相馬市原町区）

張り合いも採算もないこの米価
瑞穂の国の未を危ぶむ
佐久間 喜夫さん（二本松市）

陽性数日々確認し紙上にて
遠く住む子の安否を想う
田中 里子さん（南相馬市原町区）

みらいろに投稿重ね知識得て
感謝感謝で一年終る
渡辺 絹子さん（福島市）

甘柿に群らがる鳥のにぎやかさ
阿部 勝香さん（福島市）

朝獲りのキャベツ料理で食すすむ
佐藤 衛さん（伊達市保原町）

地球色コロナ温暖化青から茶
加藤 慶子さん（伊達市霊山町）

里芋のひとてまかけた秋の味
夏山 繁樹さん（福島市）

いきぬきに寒さかくして歩く道
中野 里桜花さん（相馬市）

民友に宅配つつみ送り出す
梅村 チヨさん（南相馬市小高区）

カラフルに舗装を染める落葉かな
富田 タツ子さん（南相馬市小高区）

路地石の温み求めて秋茜
安藤 直子さん（南相馬市鹿島区）

師走きて指折り数えた誕生日
吉田 昭雄さん（南相馬市原町区）

紅葉がり雲の流れといろは坂
富田 直子さん（水戸市）

列島も捩れてゆがむ大地震
須賀 深子さん（伊達市保原町）

室咲きの花に見とれて春想う
平間 勝成さん（南相馬市原町区）

老々介護ともに寄り添いあゆむ路
今野 純子さん（新地町）

水霜に光る稲穂の神無月
草野 小心さん（南相馬市鹿島区）

紅葉がすさんだ心をなごませる
市山 カツエさん（国見町）

言葉より口をむすんで十文字
鈴木 記代さん（大玉村）

師走月家の掃除で汗をかく
松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

ドラマよりドラマチックな衆院選
山本 松太郎さん（本宮市）

コロナ禍後を描く先生方の未来は何色ですか
佐藤 良子さん（本宮市）

頬赤くマラソン大会孫三人走る
清水 里子さん（相馬市）

菊手水揺れてワルツを踊ってる
遠藤 ゆうこさん（二本松市）

愛子さま成人おめでとうお幸せに
志賀 美恵子さん（郡山市）

ダッシュする新庄監督キラッキラ
鴫原 美智子さん（二本松市）

山白く頭も白く雪けしょう
佐藤 恵良さん（二本松市）

何事も地球温暖の為けちろうか
阿部 京子さん（福島市）

星光るなのにざあざあ雨が降る
畑山 晶子さん（南相馬市鹿島区）

スポーツのヒゲムシャ選手マナー落ち
藤原 和江さん（南相馬市原町区）

秋なるも朝寒コタツアイス食べ
太田 幸子さん（南相馬市原町区）

サル野郎どこから網越え柿もぎだ
藤原 萌雄さん（南相馬市原町区）

農作業天命と思へば励み湧く
三浦 良一さん（南相馬市原町区）

平和世に殺人多多に超恐怖
引地 茂さん（南相馬市原町区）

紅葉が山一色や新田奥
太田 三秀さん（南相馬市原町区）

百才までと唱えていたらその通り
藤原 元気さん（南相馬市原町区）

自民党勝って胃がちと曲り
藤原 實さん（南相馬市原町区）

朝起きてニュースの始め火事死亡
デクノ坊さん（南相馬市原町区）

俳句

川柳

創造的自己改革実践中!! vol.45

「ピーチコラボレーション」銀行×ＪＡ　若手職員意見交換について

当ＪＡと東邦銀行は業務提携の可能性を見出すため、若手職員による意見交換会を行いました。名称は「ピーチコラボレーション」。People network and channel の略称を、福島県を代表するモモ（Peach）と掛け合わせ名付けました。県を代表する銀行と広域ＪＡの有機的結合により、福島県全体の発展を目指します。

１１月４日、当ＪＡ本店で第１回目の意見交換会として、両組織から２０代～４０代の若手職員各６人が出席し、ＮＴＴデータ　ルウィーブ株式会社の斎藤高明さんをコーディネーターに迎えて顔合わせを行いました。

第１回目は自己紹介と両組織から事業説明を行い、それぞれの事業の概要に理解を深めました。質問を交えながら提携の可能性を探り、今後の業務提携に向けた話し合いの足掛かりとしました。

金融部の佐藤忠夫部長は「管内だけでなく地域全体に目を向けて欲しい。人脈をつなぎ、福島県の人々の役に立てるよう若い視点での活発な活動を期待している」と話しました。

創造的自己改革へのさらなる挑戦 !!　みなさまの評価・応援が私たちの力になります!

学べる土地福島

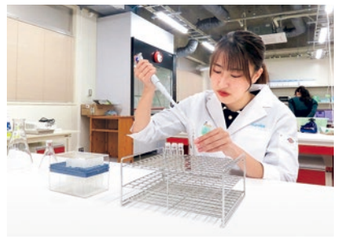
農業の現場で学ぶ vol.10

新鮮で充実の毎日です！

こんにちは！食農学類 1 年の米田琴音です。私は普段スーパーで売られている食材たちがどのようにして作られているのか、加工されているのかに興味を持ち、食農学類に入学しました。私はこれまで農業にはほとんど触れずに育ってきました。地元（東京）の友達からは「なんで福島で農学なの？」と聞かれることが多くあります。その時、私は福島のような1年を通して様々な農産物が栽培・収穫できる土地だからこそ学べることが沢山あると自信をもって言うことができます。

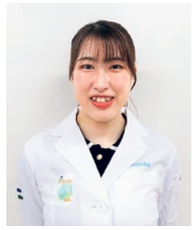
講義を受ける中で、私は食品の機能性について興味を持ちました。今まで触れたことのなかった農学の講義は毎日が新鮮でとても充実しています。所属しているチアダンスサークルと勉学を両立し、福島県の魅力を一人でも多くの方に伝えられるように頑張りたいです。

また大学に入って良かったことの一つは自分の視野が広がったことです。今まで出会ったことのないような多くの人達に出会い、刺激を受けています。1 番刺激をくれたのは私も所属する科学サークル “エウレカ” を立ち上げた友人です。自分も何か積極的に行動してみようという気持ちになり、とても尊敬しています。次号はその一番の友人のコラムです。期待して読んでください！



福島大学 学生日記

Instagram



食農学類1年
米田 琴音（よねだ ことね）

SNSで
活動状況を
随時発信！
@学鴻会
（がくほうかい）

元気にすくすく みらいっ子

福島地区

庭坂支店
佐藤 定義さんのお孫さん

元気いっぱい
大きくなってね!

悠（はる）くん（4歳）

丈太朗（じょうたろう）くん（1歳）

安達地区

安達支店
安斎 博樹さん、
晶さんのお子さん

3人で仲良く楽しく
いっぱい遊ぼうね。

暁斗（あきと）くん（5歳）

明莉（あかり）ちゃん（4歳）

みつ葉（はつは）ちゃん（3ヶ月）

そうま地区

相馬中村総合支店
佐藤 幸裕さん、
あずささんのお子さん

たくさんの笑顔
ありがとう♡
これからも元気で
健康に育ってね♪

悠句（はるく）くん（9歳）

由阿（ゆあ）ちゃん（11歳）

基乃（きの）ちゃん（7ヶ月）

伊達地区

上保原支店
小野寺 宣践さん、
京美さんのお子さん

来ちゃん1歳おめでとう!
龍くん、星くんも毎日来ちゃんと
あそんでくれてありがとう !!
明るく元気にすくすくと
大きくなってね。

龍星（りゅうせい）くん（10歳）

星来（せいら）くん（8歳）

來叶（このか）ちゃん（1歳）

JAふくしま未来の介護福祉事業

地域の介護をみんなで支え合いましょう!!

介護保険法に基づき、介護保険利用者様が住み慣れたご自宅で安心して生活を送れるように、介護福祉職員が一丸となりサービスをさせていただいております。

居宅介護支援事業（きょたくかいごしえんじぎょう）

介護サービスを利用するにあたっての
さまざまなお悩みや疑問を解消し、
利用者様と関係介護事業所等との調整をします。

- ケアプラン作成
- 利用者様・ご家族様への説明
- 相談業務
- 居宅訪問・面談
- 関係事業所との調整
- サービス計画の見直し

★経験豊富で、親切なケアマネジャーが揃っています。
介護について不安なこと、困っていること、お気軽にお電話ください。

【福島地区】介護プランセンターかわまた	024-565-3200
【伊達地区】居宅介護支援事業所だて	024-575-0322
【安達地区】居宅介護支援事業所にほんまつ	0243-22-1001
居宅介護支援事業所もとみや	0243-24-1184
【そうま地区】居宅介護支援事業所そうま	0244-46-5067

ヒートショックにご注意を！

温度差による血圧変動で起こるヒートショックにより、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの病気が起こります。
冬場に暖房の効いたリビングから脱衣所に移動し、浴槽に入る時などに起こります。特に10℃以上の温度差がある場所は危険とされており注意が必要です。また、トイレでヒートショックを起こす人もいるので要注意です。

【予防のポイント】(入浴の場合)

ポイント1　脱衣所と浴室を温める
- 脱衣所に暖房器具
- 浴室は浴槽にお湯が溜まっている場合ふたを外しておく
  シャワー給湯

ポイント2　お風呂の温度は低めに設定
- 入浴は41℃以下で10分以内

ポイント3　ゆっくりとお風呂から出る
- お風呂からでる時はゆっくり立ち上がる

その他
- 飲酒後の入浴は避ける
- 入浴前に水分をとり家族に一声かかける
- 高齢者等へは、入浴中はときどき様子を見に行く

進めよう！国消国産（こくしょうこくさん）

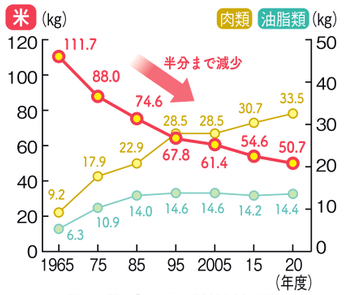
国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産

［ 今回のテーマ ］

日本人がお米を食べなくなっているのは本当？

日本人の主食として欠かせない食材ですが、国民1人・1年当たりの消費量は、約50年で半分以下まで減っています。

米、肉類、油脂類の1人・1年当たりの消費量の変化



出典：農林水産省「食料需給表」2020年度
注：1人・1年当たり供給純食料を記載

ごはん茶碗1杯分（150g）で摂取できる同程度の栄養素

たんぱく質	牛乳111ml
脂質	食パン(8枚切り)約1/4枚
炭水化物(糖質)	ジャガイモ小3個
カルシウム	ごま油約0.4g
食物繊維	セロリ1/3本
ビタミンB1	キャベツ大1枚
鉄分	ほうれん草1～2枚

文部科学省「七訂日本食品標準成分表」より算出による

お米の消費減少の原因は、食の多様化による主食の変化や朝食を抜くなどさまざまな理由が考えられる一方で、「太りそう」という誤解からもきています。
お米の糖質「でんぷん」は消化吸収の過程で血糖値の上昇を緩やかにし、体脂肪になりづらく、カロリーは脂質の半分程度であることからも「太りにくい」という特徴があります。
お米を炊くのが面倒…という場合は無洗米やパックご飯なども活用して、国産米を食べて農家を応援し、国消国産を進めましょう。

耕そう、大地と地域のみらい。

みらいろポイントカード協力店紹介

みらいろポイントカード協力店でオトクなサービスを受けよう！

ここではみらいろポイントカードを提示することで、サービスが受けられるお店を紹介します。

屋台や十八番本店（置賜店）

福島市

地酒と焼酎、焼き鳥、おでんがおすすめ!
17:00～翌1:00まで営業。年中無休。

住　所　福島市置賜町5-31
営業時間　17:00～翌1:00
定 休 日　無休
T E L　090-9636-4414

サービス内容
ドリンク1杯サービス（生ビール・チューハイ・ソフトドリンクなど）

㈲橋元堂　豊嶋屋

福島市

いつもご愛顧ありがとうございます。

住　所　福島市飯坂町湯野字橋本15-4
営業時間　8:30～16:30
定 休 日　火曜日
T E L　024-542-3521

サービス内容
5%引き

みとみ学園ライセンスアカデミー福島校

福島市

国家資格、公務員受験対策の予備校として開講20周年を迎えます。福島市では唯一、小型船舶講座も開講しております（夏季のみ）。

住　所　福島市太田町20-7 第1佐周ビル2F
営業時間　月　12:00～21:00
　火水木金　9:00～21:00
　土日　9:00～18:00
定 休 日　祝日
T E L　024-525-1023

サービス内容
受講料５％引き

西町　朽木商店

桑折町

4月下旬から6月下旬は各種野菜の苗、さといも種、長いも種など、12月上旬から正月用品、1月からは小正月団子さしを取り揃えております。

住　所　桑折町西町73
営業時間　8:00～18:00
定 休 日　無休
T E L　024-582-2397

サービス内容
苗物、シメ縄、シメ飾り（正月用品）、小正月用団子、3,000円以上お買い上げで200円引き

安達太良カントリークラブ

二本松市

あだたら高原の自然を生かして作られた、伝統の18ホール。安達太良連邦の山並みへ向かって打つ、この爽快感をぜひ一度味わってください。

住　所　二本松市雄平台15
営業時間　7:30～17:30
定 休 日　無休（1月・2月は冬季クローズ）
T E L　0243-24-2111

サービス内容
来場時モーニングコーヒー1杯サービス

木幡山参宿所

二本松市

古の文化と杉の美林に包まれた交流の館。

住　所　二本松市木幡字治家49
営業時間　9:00～17:00
定 休 日　無休　※要予約
T E L　0243-46-2869

サービス内容
宿泊者に限り100円引

㈱クリーン商会（廃棄物処理）リサイクル工場

大玉村

県内の製紙メーカーに燃料として販売させて頂いており、タイヤをとおして地産地消に努めています。

住　所　大玉村大山字高森132-5
営業時間　平日　8:00～17:00
　土　8:00～12:00
定 休 日　日曜日・祝日
T E L　0243-48-3919

サービス内容
5%割引（タイヤ処理価格）※二本松市、本宮市、大玉村の方で個人に限る

新田川温泉はらまちユッサ（にいたかわおんせん）

南相馬市

県内屈指の高アルカリ性、（PH9.3）温泉です。浴後はお肌がスベスベになります。また広々とした露天風呂で川のせせらぎを聞きながら森林浴と温泉浴が楽しめます。その他、1mの深湯や種類豊富なジャクジー、高温サウナと塩サウナで日頃の疲れを癒してください。

住　所　原町区深野字荒戸沢15番地
営業時間　14:00～21:00
　※詳しい営業時間についてはお問合せ下さい
定 休 日　木曜日　※例外として木曜日が祝日または11日26日にかぶった場合は振り替えとして水曜日が休みとなる
T E L　0244-26-0026

サービス内容
120円割引（15%）

みらいろポイントカードの協力店に加入いただける企業や店舗を随時募集しています。

加入いただける場合や詳しい情報を聞いてみたい場合は、**企画部　企画経理課　総合ポイント係**にご連絡ください。

問合せ先　企画部 企画経理課
TEL　024-554-5507

ヘアーサロン花井

飯舘村

予約も承っております。

住　所　飯舘村臼石字町168
営業時間　9:00～18:00
定 休 日　毎週月曜日
　第1火曜日　第3日曜日
T E L　080-5225-2977

サービス内容
粗品進呈

さらに協力店を知りたい場合は、各直売所に置いてある「協力店ガイド」をご覧ください。

ドローンで見る ふくしま未来

そうま地区（南相馬市原町区）

北泉海浜総合公園

東日本大震災の津波被害から復活し、多目的広場や多くの遊具が整備され、休日には多くの家族連れで賑わいます。北泉海岸は全日本サーフィン選手権大会が開催されるなどサーフィンの聖地です。

ホームページで動画もご覧いただけます。
https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone
JAふくしま未来 ドローン動画集　検索

お知らせ

～YouTube「みらいろチャンネル」動画配信中～
チャンネル登録お願いします

ＪＡでは、動画サイト「YouTube」を活用して、「みらいろチャンネル」という独自のチャンネルを運営しています。旬の農産物や、ドローンの映像、農産物の栽培方法など、管内や地域の特産、風景、施設などを紹介する動画を配信し、全国各地にＰＲしています。

みなさんもぜひチャンネル登録をお願いします。（登録は無料ですが、閲覧には通信料が発生しますのでご了承ください。）

ＱＲコードの読み取りで登録できます。

野菜をつくろう！

家庭菜園のススメ

ＪＡの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい！」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします♪
第10回は、「カブのトンネル栽培~適切な温度管理を心掛ける~」です。

カブは、暑さと乾燥に弱いが、寒さには強いという特徴があります。温暖地の露地栽培は 3、4 月まきになりますが、トンネル栽培では 2 月まきができます。生育促進と、とう立ち防止にマルチ、べた掛け、トンネル資材での保温が必要です。

品　種

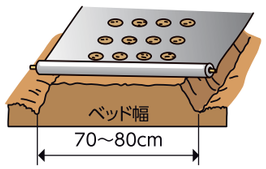
低温肥大の良い「白鷹」、「ゆきわらし」、周年安定した生育をする「耐病ひかり」などがあります。

畑の準備

種まき 2 週間前に 1 ㎡当たり苦土石灰 100g を全面にまき、深く耕しておきます。1 週間前に化成肥料（NPK 各成分 10%）100g と堆肥 1 ~2kg をまいてよく混和しておきます（図 1）。

畝立て

幅 70~80cm、高さ 5~10cm のベッド（栽培床）を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、灌水して土壌水分が適度な状態にし、15cm 間隔の穴開きシートでマルチをします（図 2）。



種まき

種は 1 穴当たり 4、5 粒をまき、1cm ほど土を掛けます（図 3）。その後は、発芽促進と幼苗の保温のために、べた掛けとトンネルをします（図 4）。

図3　種まき

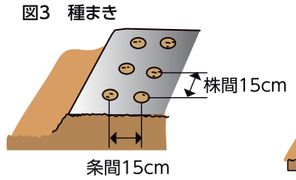
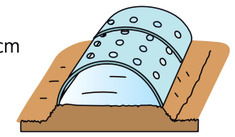


図4　トンネルべた掛け



間引き

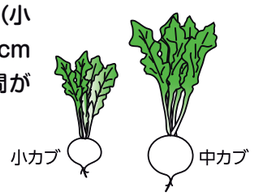
発芽し、双葉がそろった時点で、密になっている部分を間引きます。その後も、生育の劣る株を間引き、最終的に 1 株立ちにします。

トンネルの被覆と換気

冷涼地や温暖地の 2、3 月はまだ夜温は低いが、昼間のトンネル内は高くなるため、本葉 1、2 枚の頃から換気を開始します。フィルムの裾を開閉する方法、フィルムに穴を開ける方法や穴開きフィルムを使う方法があります。そして、生育後半にトンネル内の茎葉が繁茂する頃、遅くてもヤエザクラの開花の頃にトンネルを除きます。

収穫

直径 5、6cm から収穫（小カブ）を始め、10~12cm（中カブ）まで収穫期間があります（図 5）。



園芸研究家●成松次郎

クロスワードパズル

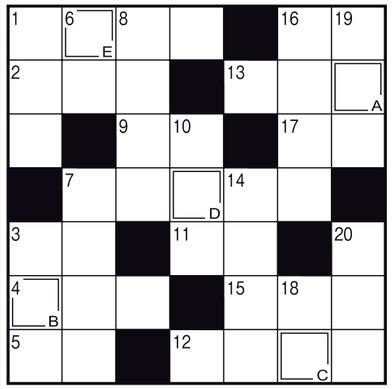
ヨコのカギ

1　1月の第2月曜日はーーの日。国民の祝日です
2　旅支度で、旅行かばんにーーを詰めた
3　下手な鉄砲もーー撃ちゃ当たる
4　北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
5　水が混じって軟らかくなった土
7　これが三つで三振
9　土を盛り上げて作ります
11　植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
12　「住めば都」とか「猫に小判」とか
13　果物ーーを使ってリンゴをむいた
15　遠回りをすること
16　初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
17　やっぱり自分のーーが一番落ち着くなあ

タテのカギ

1　オイルショックともいわれるーー危機
3　分度器で測ります
6　栗の実のトゲトゲ
7　春の七草の一つ。ダイコンのことです
8　遊園地でーーコースターに乗った
10　おでんに添える黄色い薬味
14　年下の女きょうだいのこと
16　屋外で行うことも多い教科
18　ミカンのものは手でむけます
19　おしゃれなーーでランチを楽しんだ
20　「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」といえば

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



応募締切 12月20日(月)（必着）

宛先　〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

応募方法　官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、上記の宛先までご応募ください。

記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

正解者の中から抽選で**「みらいろオリジナルグッズ」を10名様に**お送りさせていただきます。

先月号の答え

プA　レB　ゼC　ンD　トE

JAふくしま未来の概要

令和3年10月末現在

組合員数（正）	45,375人
〃（准）	48,918人
役員数 理事	53人
〃 監事	8人
職員数	1,168人
准職員数	281人
出資金	16,406百万円
事業実績	
購買品供給高	7,156百万円
販売品販売高	22,179百万円
貯金高	769,510百万円
貸付金高	204,700百万円
長期共済保有高	2,490,335百万円

編集後記

今年も１年間、広報誌「みらいろ」をご愛読いただきありがとうございました。今月号の特集は今年の漢字。みなさんはどんな漢字を選びましたか？ご家族で話しながら今年を振り返るのもいいですね♪ 年末にかけて風邪など引かないよう、お気をつけてお過ごしください。良いお年を！来年も宜しくお願いします！（優）

理事会報告

第9回理事会　日時 ／ 令和3年10月28日(木)
場所 ／ 摺上亭大鳥　鳳凰の間

■ 協議事項 ■

議案第１号　「令和3年産米価格下落に伴う次期作支援事業要領」の制定について
議案第２号　「凍霜害次期作支援事業（防霜ファン導入）要領」の制定について
議案第３号　次期役員執行体制について
議案第４号　第3期役員改選手続きについて
議案第５号　第3期総代選出手続きについて
議案第６号　役員辞任に伴う対応について
議案第７号　固定資産の処分（処理方針）について
議案第８号　令和3年度ＪＡフェア等開催内容について

今月の直売所出荷者さん

季節ごとの味わいを楽しんでください。

福島市鎌田

齋藤　智さん（39）

10年前からJA直売所へ出荷を始めた齋藤さん。農薬を控えた栽培を心掛けています。

今の時期はホウレンソウ、キャベツ、春菊、２月頃から11月頃までは、キュウリを中心に出荷しています。

搬入時に、先輩農家から教わる栽培技術や経験談などが、野菜栽培に役立っています。

農作業は、横のつながりが大切だなと改めて感じています。

イベント情報

ここら全店

米特売
12月11日（土）、12日（日）

牛乳の日
12月15日（水）

納豆の日
12月17日（金）

みらい百彩館んめ～べ

納豆特別価格販売
12月10日（金）

干し芋まつり
12月11日（土）、12日（日）

あんぽ柿まつり
12月18日（土）、19日（日）

歳の市
12月28日（火）～30日（木）

こらんしょ市二本松店

こらんしょ市の日
12月15日（水）、16日（木）

歳末セール
12月15日（水）～30日（木）

ふれあい旬のひろば・旬のひろば

旬の味覚特売　毎週金・土・日

JAふくしま未来
ふくしま未来農業協同組合　〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
編集：改革推進部広報課　TEL 024-573-7121　URL http://ja-f-mirai.or.jp/